九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[04_04]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

https://hdl.handle.net/2324/1467977

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 4 (4), 1971-08-02. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

ボリュームの利用について

4月24日（土曜日）より専用ボリューム、共用ボリュームの利用ができるようになりました。

（1）専用ボリューム（利用者がセンターに持込んだボリューム）

従来はC，Dジョブで利用ができていましたが、今回よりDジョブのみでしか利用ができません。これにより専用ボリュームを使用するだけでターンアラウンドタイムが遅れていたジョブの返却が従来より早くなると思います。

（2）共用ボリューム（センターが利用者に開放したボリューム）

集団デイスクパックの1モジュール（4000トラック、7294バイト／トラック）を共用ボリュームとして開放します。

1）大きさ　1課題番号につき 100トラックまでです。ただし利用者が多い時にはこれよりも小さくなります。

2）個　数　1）の大きさの範囲内であれば原則として個数の制限はもうけません。

3）フアイル編成と内容

順編成フアイル……FORTRAN, ALGOL実行時の中間結果を書くためのもの（WK）

分割型順編成フアイル…ソースプログラム（1レコード80文字のもので
ソース…SC，データ…DTの2種）

相対形式プログラム（RB）

実行形式プログラム（EB）

4）トラックとブロック数の関係

内容	大きさ（バイト数）	ブロック数（1トラックあたり）	備　考
WK	1152	5	FORTRANでBUFFER文，RECORD－SIZEの指定がない時
SC DT	1200	5	1トラックにカードにして75枚分
RB	2430	2	
EB	2250	3	1トラックに1～1.5KW（但し配列でとったものは除く）のプログラムがはいる。

（3）資　料

富士通マニュアル　「FACOM 230－60LIBE文法編」

「FACOM 230－60LIED文法編」

「FACOM 230－60FORTRAN解説編（II）」

「FACOM 230－60ALGOL解説編」

センターで準備しているもの

「ファイル利用のための手引（検討版）」

これは現在部数が少ないため実際に利用する人だけにしか渡らないと思います。実際利用した人の意見を聞いてこの検討版を完全に修正したものを5月の終りに発行する予定です。

なお専用ボリューム、共用ボリュームについてのお問合わせは業務係（ＴＥＬセンター22、九大内線5334、（092）－（64）－7691）までお願いします。